

「三田市産業創造戦略」の見直しについて

1 三田市産業創造戦略について

- (1) 策 定：平成 31（2019）年 2 月
- (2) 計画期間：平成 31（2019）～令和 10（2028）年度
- (3) 位置付け：「三田市総合計画」の主に「商工業の振興」を実現するための個別計画
- (4) 目指すべき姿：多様な人材・産業の創造・豊かなくらし・魅力あるまちが好循環する
「生活・産業都市」
- (5) 戦略の柱：①ひとづくり ②ものづくり ③まちづくり

2 見直しの考え方

「産業創造戦略」の策定から 5 年が経過したことから、計画期間の後期に向けて「三田市産業創造戦略【後期計画】」を策定する。

基本理念（目指すべき姿、戦略の柱）は維持しながら、これまでの取組や産業を取り巻く状況等を踏まえ、評価指標（K P I）や施策の見直しを実施する。

産業を取り巻く状況

- (1) 生産年齢人口等の減少
- (2) 働き方改革
- (3) DX・デジタル化
- (4) SDG s・カーボンニュートラル

3 見直しのポイント

- (1) 基本理念（目指すべき姿、戦略の柱）は維持
- (2) 基本施策、具体的施策について整理、追加修正
- (3) 評価指標（K P I）について項目を整理、追加修正、目標値を設定

4 スケジュール

時期	内容
4 月	議会報告（懇話会の開催） 第 1 回懇話会【後期計画(素案)の検討】
5 月～6 月	関係機関との意見交換
6 月	第 2 回懇話会【後期計画(素案)の検討】
7 月～8 月	議会報告（後期計画（素案）） パブリックコメント
9 月～10 月	議会報告（後期計画（完成版）） 後期計画（完成版）の公表

産業創造戦略の見直しの概要

戦略の柱1ひとづくり

- ・年代ごとの人材育成施策を「1多様な人材育成」として整理
- ・起業等に関する施策を「2起業・創業の促進」として整理
- ・「4就業機会の拡大」を「戦略の柱3まちづくり」から「戦略の柱1ひとづくり」へ移動
- ・具体的施策として「1-②学生、地域、事業者のマッチングの促進」「1-④女性活躍の推進」を追加

戦略の柱2ものづくり

- ・「5中小企業等の振興」を「4事業者の「経営力の強化」」に修正
- ・具体的施策として「1-④社会課題解決に向けた新たなビジネスモデルの構築」「3-③新たな拠点の整備推進」「3-④新たな産業団地の整備検討」を追加

戦略の柱3 まちづくり

- ・「I 拠点機能」「II 魅力の創出」の分類を1つに統合
- ・「1インキュベーション機能の整備」を「1インキュベーション機能の連携」に修正
- ・具体的施策として「1-①インキュベーション機能のネットワーク化」「3-②子育て世代が働きやすい環境づくり」を追加

戦略の柱	基本施策	具体的施策	
柱1ひとづくり	1 起業家育成支援プログラム	「三田市版アクセラレーションプログラム」の創設 海外インターンシップ制度 プレミアム世代の活躍支援	
	2 創業支援セミナー、実践創業塾等の開催	創業マインド向上支援セミナー等の開催 起業家同士の情報交換交流会等の開催 助成制度の活用	
	3 事業者の育成	事業継承や新たな事業への取り組み支援 技術革新への対応及びスキルアップ支援	
	4 企業への就職支援	企業説明会及び見学ツアー等の開催	
柱2ものづくり	1 産学官及び企業間の連携	新産業等の創出 三田発ビジネスモデルの創造 農商工連携の推進	
	2 企業等の分析	起業家の現況把握 地域経済の分析	
	3 地域からの新しいビジネスモデルの創出	革新的な技術(IoT、ビッグデータ、AI)の活用 地域コミュニティから新たなビジネスモデルの構築	
	4 企業誘致の促進と定着	工業団地への企業立地の促進 立地企業の定着促進 調査・研究プロジェクト	
	5 中小企業等の振興	融資制度等による支援 設備投資等の推進 商品開発や販路開拓への支援 経営専門家による経営改善、売上拡大等の支援	
柱3まちづくり	I 拠点機能	1 インキュベーション機能の整備	起業家を育成・支援する拠点機能の整備 チャレンジジョブ応援事業 【三田駅】都市機能の集積と賑わい拠点の整備
		2 拠点地域の整備	【新三田駅】ニュータウン、テクノパークの玄関口の整備 【カルチャータウン】センター地区を拠点とした賑わいの創出 【カルチャータウン】産学官による活用手法の研究
	II 魅力の創出	1 まちの賑わいの創出	商業の活性化 空き店舗や町家の再生活用による賑わい創出 中心市街地の賑わいづくり
		2 適正な商業集積の推進	商業集積の調査・研究
		3 就業機会の拡大	雇用の推進 シニア世代への支援
		4 子育て世代への活躍支援	環境整備の推進 企業の魅力発信
5 まちの魅力の向上	三田ブランドの発信 「こうみん未来塾」の実施		
6 魅力あるまちづくりの推進	「住みたい、住み続けたい」まちづくりの推進		

戦略の柱	基本施策	具体的施策
柱1ひとづくり	1 多様な人材の育成	① 次世代育成プログラムの実施 ② 【新】学生、地域、事業者のマッチングの促進 ③ シニア世代への支援 ④ 【新】女性活躍の推進
	2 起業・創業の促進	① 起業家育成プログラム、創業支援セミナー等の実施 ② 起業家同士の情報交換交流会等の開催 ③ 起業・創業支援制度の充実
	3 事業者の育成	① 事業継承や新たな事業への取組支援 ② 技術革新への対応及びスキルアップ支援
柱2ものづくり	1 産学官及び企業間の連携	① 雇用の促進 ② 企業説明会及び見学ツアー等の開催 ③ 【新】多様な担い手の確保
	2 企業等の分析	① 新産業等の創出 ② 三田発ビジネスモデルの創造 ③ 農商工連携の促進 ④ 【新】社会課題解決に向けた新たなビジネスモデルの構築
	3 企業誘致の推進と定着促進	① 起業家の現況把握 ② 地域経済の分析 ③ 工業団地への企業立地の促進 ④ 立地企業の定着促進
	4 事業者の「経営力」の強化	① 経営基盤の強化 ② 設備投資等の促進 ③ 商品開発や販路開拓への支援 ④ DX・デジタル化等による経営改善、売上拡大等の支援
柱3まちづくり	1 インキュベーション機能の整備と連携	① 起業家育成・支援拠点機能の整備促進 ② 【新】インキュベーション機能のネットワーク化
	2 まちの賑わいの創出	① 空き店舗や町家の再生活用による賑わい創出 ② 中心市街地の賑わいづくり
	3 子育て世代の活躍支援	① 子育て支援環境の整備の推進 ② 【新】子育て世代が働きやすい環境づくり
	4 まちの魅力の向上	① 企業の魅力発信 ② 三田ブランドの発信

削除項目

新規・拡充項目

評価指標(KPI)について

- ・「戦略の柱2 (仮称)産学官連携協議会事業の企画・推進数」「市制度融資新規利用件数」を「1-②公民連携により実現した事業数」「4-②中小企業等経営強化法を活用した設備投資等の認定件数」に修正

戦略の柱	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (2017年)	中間目標値 (2023年)	現状値 (2023年)	評価
柱1ひとづくり	海外インターンシップ制度利用者数	-	25人(累計)	26人(累計)	○
	プレミアム世代の創業件数/カルテ作成件数	0件/9件	5件/30件(累計)	3件/33件(累計)*	○
	創業相談等支援を行った者のうち起業した件数	19件	30件(累計)	102件(累計)*	◎
	創業支援事業セミナー等参加人数	130人	200人	198人*	○
柱2ものづくり	(仮称)産学官連携協議会事業の企画・推進数	-	4件(累計)	1件	×
	市制度融資新規利用件数	46件	60件	4件	×
	製造品出荷額等(4人以上の事業所)	5,726億円(2015年)	6,000億円	5,351億円(2021年)	×
柱3まちづくり	インキュベーション施設利用者数	-	-	413人	-
	チャレンジジョブ利用による出店数	-	4件(累計)	9件(累計)	◎
	キッピースクエア来場者数/イベント件数	9,845人/24件	16,400人/40件	4,530人/6件	×
	三田地域合同就職面接会による就職者数	33人	48人	18人*	×
	企業の魅力発信イベント開催件数	-	5件(累計)	1件	×

削除項目

*2022年度実績

戦略の柱	重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (2028年)
柱1ひとづくり	2-① 起業家育成海外プログラム制度利用者数	50人(累計)
	2-② 創業支援事業セミナー等参加人数	250人
	2-④ 創業相談等支援を行った者のうち起業した件数	185件(累計)
	2-④ 起業支援制度(チャレンジジョブ等)の利用による出店数	25件(累計)
柱2ものづくり	4-① 三田地域就職面接会による就職者数	30人
	4-② シニア世代の創業件数/カルテ作成件数	8件/55件(累計)
柱3まちづくり	1-② 【新】公民連携により実現した事業数	14件(累計)
	4-② 【新】中小企業等経営強化法を活用した設備投資等の認定件数	125件(累計)
柱3まちづくり	4-② 製造品出荷額等(4人以上の事業所)	5,538億円
	1-① インキュベーション施設利用者数	1,000人(累計)
	2-③ キッピースクエア来場者数/イベント件数	5,000人/10件
	4-① 企業の魅力発信件数	25件

新規項目